

表1 本授業の進行による学生の変容過程

×否定的 △価値中立的 ○肯定的 ◎自覚的

日	コマ	ねらい	教師の指導内容	学生の変容		
				即自	対自	対他
1	A	①どう生きてきたか文章化することにより自分に気づく。 ②授業への期待の文章化により、WS型学習への感じ方を客観的に認識。 ③この授業が自分自身のために行なわれているという認識をもち、参加意欲をもつ。	①あなたの自己決定は何によって阻害されてきたのか。 ②比べられるために生まれてきた人はいないはず。それなのにあなたはなぜ表現をいやと思っているのか。 ③現代青年には、状況主義的自分らしさの傾向が見られる。それではあなたにとって「自分らしい生き方」とは何か。	(文章表現①の自由記述から重複して集計、n=33)		
				普通に(人並みに)△△△△△適当に△△△△△のんびりと○○○楽を選んで△素直に○何とな△△なるようになるで△	いろいろ考えて◎◎◎◎◎したいことをして○○○○自己決定だが疑問も◎◎価値観大切に○考えなかった×自分を探して一生懸命◎	流されるまま×××××消極的・受動的に×××××「敵」から逃げて×××××「いい子」として×
				(以下は授業に対する期待)		
				何かを得たい○○○○○今までと違うから楽しみ○○○○○生涯学習について知る○○○楽しく(おもしろく)○○○おもしろそう○○○退屈しないよう△△やる気の出るよう○期待はない×	自己決定できるよ○自分知る・気づく○○○生き方のヒント○○○WS・能動型授業○○○考え変わる○○○学習とは○○○生き方を見直す◎かしこく○生涯学習理解の変化○	学生参加型不安×××××他者の意見が参考○○○フレンドリー○人見知りをなくしたい○人間関係のあり方○相手を正しく理解○他者との関係の中で自己確立◎
			件数	×1△14○20◎0	×1△0○23◎9	×13△0○6◎1
1	B	対教師観察型の	図解作成(自己表現の全体化)／生涯学習とは何かー自己決定活動の意義と可能性			
1	C	教師指示型の	出会いワーク(自己理解・他者理解・相互交流)／第一印象ゲーム			
1	D	教師介入型のグループワーク ①本日のそれぞれのコマにおいて自分が何に気づいたかを挙挙することによって、その気づきを外在化する。 ②カード式発想法によって、同じ授業を受けた他者の異なる気づきと出会い、自分の気づきとする。 ③それらの気づきをグループで図解化することによって、自己と他者の気づきを全体のなかでとらえられるようになる。	グループ作業への介入内容 ①早々と仕上げようとしているグループに「どう考えても早すぎる。一枚一枚味わって、大切にすれば、そんなに早くできるわけがない」。 ②大きな島が早々とでははじめているグループに「こんなにたくさんのカードが集まるわけがない」。 ③表層的な表札でまとめているグループに「このカードは、どんな気持ちでいっしょになったの? 『みんな』という表面的類似性で集めてしまったんだね」。 ④停滞気味のグループに「一枚一枚読み上げて、わかるまで質問して、おしゃべりを楽しんで」。 ⑤学生参画型の是非だけでまとめつつあるグループに「このねらいは、賛成か反対かではない。参加には苦しみもある。それを深めよ」。 ⑥「疲れた」という一言だけのカードの取扱いに悩んでいるグループに「どんな疲れだったのか深めて共感できれば、マイナス評価としてもプラス評価としても意味が出てく	(WS成果①から表札すべてを列記、丸数字は班番号)		
				× ①漠然としている。	○ ②自己発見。	× ①グループ作業への戸惑い。
				○ ①退屈しなくて楽しかった。	○ ②自分の生き方を考えるべき。	× ①人見知り。
				△ ②運の良し悪しがある。	× ②自分について言葉にするのは難しい。	○ ①自己紹介が楽しかった。
				○ ③ちょっと違った教師像。	◎ ②自立よりも自律を目標としよう。	○ ①他人への関心。
				△ ③人生は運である。	○ ②きまった形にこだわる必要はない。	○ ①人の悩みへの共感。
				○ ③適当もいいかも。	△ ②アンビバレンス。	○ ①チームワークの誕生。
				○ ④学生が参加する授業。	◎ ②運は変えられる。	○ ①十人十色。
				× ④うまくいかない。	○ ③自分で決める人生	○ ①他人の意見を参考
				△ ④運に左右されること。	○ ⑤自己発見。	○ ②人は見かけによらない。
				○ ⑥先生がおもしろい。	○ ⑤意地を張らずにマイペース。	○ ②他人を理解したい。
				△ ⑥=小・中学校に戻ったようだ。	○ ⑤肩の力を抜いて自己決定。	○ ②他人から理解されたい。
				× ⑥慣れない作業は難しい。	△ ⑤どうして自立するのだろう。	◎ ②口で言わないとわからない。
				× ⑥作業がめんどうなときもある。	○ ⑤なぜ自立しなければいけないのか考えるようになった。	○ ②場を与えられないと、もしくは作らないと発言できない。
					○ ⑤自立しようとする心。	◎ ②人の長所も短所も受容する。
					△ ⑤停滞=今のままでいいのではないか	○ ②他人とのチームワークは大切。
					○ ⑤変身願望=今のままではいけない。	◎ ②自分の生き方は他人を知らないと把握できない。
					◎ ⑤私なりの学習論を2日間で見つけた	◎ ②自己は他者との関わりの上に成立する
					◎ ⑤生きているということは、学ぶことにつながる。	○ ③知らない人と話をするのは楽しい。
						△ ③人は見かけによらぬもの。



<p>要因の排除方法について、自分の思考方法に気づく。</p> <p>②他者のアイデアを取り入れて、自己の思考方法を改善する。</p> <p>③共同作業のなかで多様なカードを図解によって系統立てることによって、共同による発想法を身につける。</p> <p>④自分たちの思考の結果を他のグループに伝える意欲をもち、そのための実践力を身につける。</p>	<p>いってもよい。教師はこれまでのようには介入しない。参画型でやろう。②相手をなんとか理解しようと思って、わからなければ「どうして？」と聞けばよい。③突拍子もないアイデア大歓迎。④社会との関わりのなかで自己決定することの難しさをメンバーの力で何とかクリアしてほしい。⑤(まとめとして)信頼と共感に現代人が求める人間関係といえる。生涯学習も、人から学ぶことであり、人と出会うことである。そこでは、水平異質共生による癒しのサンマづくりが重要である。学歴社会における防衛的風土を超え、「みんな違ってみんないい」(金子みすゞ「わたしと小鳥とすずと」)の支持的風土を形成することが不可欠である。自己決定活動も、そのことによって可能になるのだろう。</p>	○ ①気楽に、気長に、プラス思考。	○ ①自分の意志をもって行動する。	△ ①他人を認めない・他人を認める。
		○ ②自分の気持ちに素直になる。	○ ①目先のことにとらわれず気長にやる。	◎ ①他人の意見を消化した上で自己決定。
		△ ③運。	◎ ②自分が何をしたいか、明確に整理する。	○ ①周りの意見に左右されない。
		◎ ④決定したあと起こるかもしれない楽しいことを考える。	◎ ②自分が本当に望んでいるのは何なのかわかる。	○ ①人目を気にしない力。
		◎ ④成功したときのイメージをもつ。	◎ ②自分の本心を見失わないようにする。	○ ①他人に頼りすぎているはいけないという意志をもつ。
		○ ④当たって砕けるでチャレンジする。	○ ②視野を広くする。	◎ ①意見を求められても、決めるのは相手だとわかまえる。
		◎ ④一定期間、したいことを実現してみる。	○ ②視点を増やす。	○ ②人の目を気にしすぎない=案外他人は見えていないもの。
		◎ ④他人があきれるような自分の世界を作ってしまう。	◎ ②第3者として客観的になってみる。	◎ ②建前と本音のギャップに気づく。
		○ ⑤Going my way.	◎ ②中立的立場に立って冷静に考える。	◎ ②異なる価値観をもつ人の意見も受け入れる心構え。
		○ ⑤案ずるより生むが易し。	○ ②情報の選択利用。	○ ②いろいろな人と話をする。
		○ ⑤とりあえず実行。	◎ ②何回も考えるなかで、答をみつける。	○ ②他人の意見に振り回されすぎない。
		○ ⑤強行突破。	○ ②自己決定→成功→自信。	○ ②他人の意見・情報を参考にする。
		◎ ⑤人生は後悔の繰り返し。やりたいことをやってみる。	◎ ②自己決定→失敗→原因を考える→自己決定	○ ②周囲の意見を取り入れられる柔軟性。
		○ ⑤インドアではなく、アウトドアでアクティブに。	○ ③プライドをもつ。	◎ ②自己決定阻害要因を自己決定へのアドバイスと考える。
		○ ⑥なんでもやってみる。	○ ③自己イメージの維持。	△ ③妥協する。
		○ ⑥解放できるときは解放する。	○ ③ポリシーをもつ。	○ ③敵を知る。
		△ ⑥自己暗示。	○ ③行動力をもつ。	◎ ③自分をさらけ出す。
			○ ③経験する。	○ ③本当の自分を見てもらう。
			○ ③学習する。	◎ ③周囲の意識を改革する。
			○ ③己を知る。	◎ ④仲間/味方をつくる。
			◎ ③自分の考えを変える。	◎ ④人に口に出すことで自分の意志を固める。
			◎ ③生涯学習=自己決定のための学習はずっと続けていく。	○ ④いろいろな人の話を聞いて、世の中の広さを知る。
			○ ④自分のプラスの意見を自分で評価する。	○ ④自分と同じ意見の人の話を聞いて自信をもつ。
			◎ ④失敗しても生きていくことはできると考える。	△ ④頑張れという言葉でずませてほしくない。
			○ ④経験に頼らない。	○ ④人の視線を無視してみる。
			◎ ④他人の目でなく、自分の目を気にする。	○ ⑤自分自分。
	○ ⑤自分を見つめる。	○ ⑤有言実行も不言実行も。		
	◎ ⑤目標をもったとき、自分を見つめなおす。	○ ⑤周りを見る。		
	◎ ⑤自分を客観視できるようにする。	○ ⑤周りの人の意見も聞くが、自分の考えが大事。		

◎	◎	◎	◎
○	○	○	○
○	◎	◎	◎
○	○	○	○
○	◎	◎	◎
○	◎	◎	◎
○	○	○	○
○	○	○	○
○	◎	◎	◎
○	○	○	○
○	△	△	△
◎	◎	◎	◎
◎	△	△	△
◎	◎	◎	◎
件数	×0△2○11◎5	×0△0○28◎17	×0△6○23◎16